空港アクセスバスと観光地域内デマンドバスとの連携等による広域的な公共交通利用転換実証実験の概要
（平成16年11月～平成18年3月）

◇背景と目的

栃木県北地域には世界遺産に登録された日光の社寺をはじめ、本県屈指の景勝地･温泉地がある。また、同地域と福島空港は、地域的に隣接しており、比較的近い距離にある。

しかし、これまで福島空港と同地域の間では、需要の小ささやドア･トゥ･ドア性の要請が高い特徴から基幹となる公共交通がなく、さらには同空港に広大な無料駐車場が整備されていることもあり、同空港を利用して同地域観光地へ行く際の交通手段として、また、逆に同地域住民が国内各地や海外へ行く際の同空港までの交通手段としても、マイカーやレンタカー等の私的交通が中心となっている。その結果、益々公共交通が整備される見込みは小さくなっているが、車を自由に使えない者のためにも公共交通の一層の利便の拡充が求められている。

さらには、紅葉シーズン等においては栃木県北地域はマイカーでの行楽客で慢性的な渋滞が起こっている状況であり、その意味からも、公共交通の利用を促進し、自動車交通を削減することが喫緊の課題である。このようなことから、栃木県北地域と福島空港を結ぶ栃木県北地域と福島空港間とを結ぶ公共交通について、同地域の「山間の観光地」という特徴(＝公共交通の不利点)も踏まえて利用促進策を講じた形で仕立て上げた高速バス路線の運行や、東北新幹線郡山駅と空港間を結ぶ既存のシャトルバスでの同様の利用促進策の実施等により当該区間において、従来の私的交通から公共交通機関に利用転換を図ることを目的とする。

◇申請者　栃木県北地域･福島空港間高速バス等運営委員会

◇主な実験内容

･山間の狭い街中に点在する旅館等の宿泊客や地域住民に公共交通の利用を促進するため、観光地において、ダイヤや運賃面でリンクした二次交通をデマンド運行させる形 (場合により直接デマンドする形)で高速バスを運行する

･観光客に公共交通利用促進のため、観光地のテーマパークや店舗などと提携した特典クーポン･プレゼント等をバス車内のみで配布する

･さらには旅行会社に対して、旅行商品の開発の際、本区間の公共交通を組み込むよう働きかける、

･空港のサービスカウンターでのバス等公共交通のチケットの販売

･飛行機～バス～鉄道の接続時刻表の空港利用者への配布

那須・塩原線　日光・鬼怒川線

実験の途中結果

○これまで基幹となる公共交通のなかった同地域間において、本実証実験による高速バスを運行したことにより、利用者利便の促進を図ることが出来た。今後も、利用促進策の推進、利用しやすい運行時間、運行日等のさらなる検討をしつつ、利用者の増加（公共交通機関への利用転換）を図っていく。

（実験継続中）